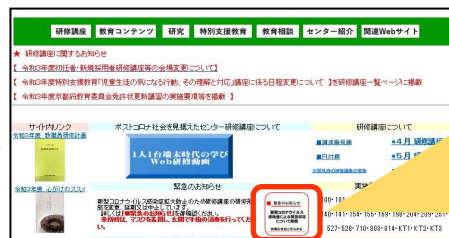




お知らせ

7月講座については新型コロナウイルス感染症の拡大防止に係る対応として、一部の研修講座を会場の変更又は延期をしています。

京都府総合教育センターホームページ(ITEC)のトップページ「緊急のお知らせ 新型コロナウイルス感染症による緊急対応について掲載」に、最新の情報を掲載しますので、御確認ください。



Check!

緊急のお知らせ
新型コロナウイルス感染症による緊急対応について掲載
お知らせはこちら

9・10 PICK UP 月講座

申込期間

小・中・義務教育学校 7/12(月)～7/26(月)

府立学校 7/12(月)～7/30(金)

435 道徳科の授業実践力向上講座

10月1日(金) 京都府総合教育センター
講師 四天王寺大学 杉中 康平 教授

「特別の教科 道徳」の授業における質的改善のための方策について、具体的な指導の在り方を学びます。

指標の対応：学習指導【ステージ1(初任期)】

522 教職員のメンタルヘルス講座

～ストレスマネジメント-QOLを高める技を学ぶ～

10月19日(火) 京都府総合教育センター北部研修所
講師 花園大学 松木 繁 教授
(鹿児島大学 名誉教授)

メンタルヘルスについての知識や心理学的理解を深め、ストレスへの対処法を体験的に学び、教職員のこころの健康づくりに生かします。

指標の対応：基本的資質能力【ステージ2(中堅期)】

505 特別活動講座

9月7日(火) 京都府総合教育センター
講師 文部科学省初等中等教育局教育課程課
長田 徹 教科調査官

特別活動の意義や学校の教育活動全体における役割、指導方法等の本質を学びます。さらに、特別活動の充実に向けた実践的な指導について学びます。

指標の対応：生徒指導【ステージ2(中堅期)】

524 特別支援教育「読み書きに困難のある児童生徒への指導・支援」講座

10月15日(金) 京都府総合教育センター
講師 広島文化学園大学 河村 暁 准教授
金沢星稜大学 河野 俊寛 教授

読み書きに困難のある児童生徒への指導・支援等について理解を深めます。

※特別支援教育コーディネーター養成講座の選択講座

指標の対応：人権【ステージ2(中堅期)】

令和3年度 京都府教育委員会 免許状更新講習受講に関する諸注意



免許状更新講習は、一般の研修講座と異なる点があります。下記の諸注意と併せて、京都府総合教育センターホームページ(ITEC)に掲載している「令和3年度京都府教育委員会免許状更新講習」や各講座の「実施要項」を御確認ください。

注意事項

本人確認のため講座当日は

「受講番号通知書」



を必ず御持参ください。

9時45分に
出欠確認
を行います。



遅刻の場合は
免許状更新講習として
受講できません。



公共交通機関を使用し、
通常のセンター講座に準じた服装
で受講してください。



二次元 コード

実施要項はこちら



免許状更新講習は
こちら



- ・災害等により免許状更新講習をやむを得ず中止する場合の予備日は設定しません。
- ・履修認定のための筆記試験を行います。合格の場合は「免許状更新講習履修証明書」を、不合格の場合にはその旨を、各講習修了の2箇月後を目処に文書にて通知します。

学びの直送便

今回の学びの直送便では、5・6月に実施した講座の様子を紹介します。



児童生徒の非認知能力を伸ばすために

710 最新教育動向講座 I 5月21日 (金)

講師：岡山大学全学教育・学生支援機構 中山 芳一 准教授

児童生徒の非認知能力を伸ばすためには、目標が達成できたかというゴールやどこまでできたかというステップだけを見るのではなく、これまで何をやってきたのかという「プロセス」を見る必要もあります。さらに、その「プロセス」を見取る指導者の「レンズ」が必要であること、また見取ったことを児童生徒に「フィードバック」して価値付けすることが大切であることをお話いただきました。

これまでの教育活動や授業内容を振り返って、非認知能力を育成する観点で教育課程を再構築し、明日からの実践に生かしていこうという受講者の姿が見られました。



児童生徒理解の認識を深める

KT2 KT3 講師対象講座 II 5月17日 (月)、24日 (月)

講師：京都府総合教育センター所員

特別支援教育や学習指導における基本事項、道徳教育もしくは生徒指導の基本的な在り方について、センター所員が講義しました。

受講者の感想より

小学校：58名、中学校：46名、特別支援学校：10名、高等学校：21名のべ135名の受講がありました！

特別支援

平等から公正（機会が同じであること）が合理的配慮の第一歩になると思いました。また、相手のニーズに合わせた支援の在り方が大切であると感じました。

学習指導

子どもたちが自身の学習の状況を把握するために、単元目標を明確に示すことや、見通しのもてる授業を行うことが大切だということがわかりました。

道徳教育

本日の講義を受けて、道徳に対する見方が変わりました。教えるのではなく、心の中にあることを引き出したり言語化したりして、自覚・成長させるという視点を持ちたいと思います。

or

生徒指導

生徒指導で大切なことは、まず一人一人の生徒の状況を理解し、その上で評価をすることで生徒の成長につながるのではないかと思います。心に残る講義でした。



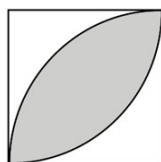
研修の様子



小中9年間を見通した、算数科・数学科の授業の在り方

418 小中9年間で数学的な見方・考え方を育てる授業づくり講座 6月4日 (金)

講師：文部科学省初等中等教育局教育課程課 笠井 健一 教科調査官
文部科学省初等中等教育局教育課程課 水谷 尚人 教科調査官



笠井調査官の講義では、左の図形の色のついた部分の面積を求める際に、子どもたちが「立式をすることにつまずいているのか」「図形を分別することにつまずいているのか」など、子どもたちの分らないところをいかに焦点化するかについて具体的に教えていただきました。

水谷調査官の講義では、全国学力・学習状況調査の問題を用いて授業改善の視点についてお話いただきました。また、「データの活用」領域での研究協議で、授業（問題解決）の流れを意識した小問からなる一連の問題作りに取り組むことで、授業の在り方についての理解を深めました。

受講者の感想より

実際の生活に関連付けた数学的な見方・考え方を問う問題の作成に取り組んでみましたが、まずは作成者側が題材となるものをよく理解しなければならないと感じました。また、児童・生徒の日々の状況をしっかりと把握して誤答などを想定しておく必要があると感じました。



遠隔会議システムを活用し、北部と南部会場を繋ぎ講座を行いました。



グループの協議に参加する 笠井調査官